

正誤訂正表

1章 設計の基本事項

ページ	行	誤	正
14		表 1.6.1 表中、“ <u>短期許容支持度</u> ”“ <u>長期許容支持度</u> ”	表 1.6.1 それぞれ、“ <u>短期許容支持力度</u> ”“ <u>長期許容支持力度</u> ”

2章 地盤の基本的性質とその評価

ページ	行	誤	正
21	10	2.1.1) 土質工学会： <u>土質断面</u> の読み方	2.1.1) 土質工学会： <u>土質断面図</u> の読み方
48	12	<u>原位置凍結法</u> などにサンプリングし	<u>原位置凍結法</u> などによりサンプリングし

4章 直接基礎

ページ	行	誤	正
91	23	深い場合は受働土圧	深い場合は受働土圧
92		図 4.1.3 	図 4.1.3
96		表 4.2.1 N 値...>50	表 4.2.1 N 値...>30
97	18	(4.3.2.) 式に示す。Terzaghi	(4.3.2.) 式に示す Terzaghi
99~104		式番号 (4.3.5) (4.3.6) ... (4.3.19) (4.3.20)	式番号 (4.3.4) (4.3.5) ... (4.3.18) (4.3.19)
100	下から 1	粘土地盤と考慮して (4.4.12) 式を用いる	粘土地盤と考慮して (4.3.11) 式を用いる
101	下から 4	実験結果の は、(4.3.14) 式の値に	実験結果の は、(4.3.13) 式の値に
102	1	を検討し (4.3.15) (4.3.16) 式を提案	を検討し (4.3.14) (4.3.15) 式を提案
103	下から 7	(4.3.18) 式の第 1 項は分散角 1/2	(4.3.17) 式の第 1 項は分散角 1/2
103	下から 6	また、(4.3.19) 式においては、	また、(4.3.18) 式においては、
104	3	=0 とすると (4.3.20) 式となる	=0 とすると (4.3.19) 式となる
104	下から 5	荷重の傾斜：(4.3.7) 式、(4.3.8) 式より	荷重の傾斜：(4.3.4) 式、(4.3.5) 式より
105	2	$\alpha_2 = (14.0 \times 1.5 + 16.0 \times 0.5) / 2.0 = 14.8$	$\alpha_2 = (14.0 \times 1.5 + 17.0 \times 0.5) / 2.0 = 14.8$
105	下から 3	内部摩擦角、粘着力：(4.3.14) 式より	内部摩擦角、粘着力：(4.3.13) 式より

105	例表 4.3.1 正（訂正箇所は○にて表示）																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">荷重条件</th> <th colspan="3">(4.3.1) 式の計算</th> <th rowspan="2">qu (kN/m²)</th> <th rowspan="2">A (m²)</th> <th rowspan="2">Ru (kN)</th> </tr> <tr> <th>$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$</th> <th>$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$</th> <th>$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常時荷重時</td> <td>528</td> <td>4</td> <td>115</td> <td>647</td> <td>4.0</td> <td>2588</td> </tr> <tr> <td>中小地震時</td> <td>470</td> <td>3</td> <td>102</td> <td>575</td> <td>4.0</td> <td>2300</td> </tr> <tr> <td>大地震時</td> <td>428</td> <td>1</td> <td>93</td> <td>522</td> <td>4.0</td> <td>2088</td> </tr> </tbody> </table>		荷重条件	(4.3.1) 式の計算			qu (kN/m ²)	A (m ²)	Ru (kN)	$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$	$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$	$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$	常時荷重時	528	4	115	647	4.0	2588	中小地震時	470	3	102	575	4.0	2300	大地震時	428	1	93	522	4.0	2088
荷重条件	(4.3.1) 式の計算			qu (kN/m ²)	A (m ²)	Ru (kN)																											
	$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$	$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$	$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$																														
常時荷重時	528	4	115	647	4.0	2588																											
中小地震時	470	3	102	575	4.0	2300																											
大地震時	428	1	93	522	4.0	2088																											
106	3	$z = \{14.0 \times 2.0 + (16.0 - 9.8) \times 3.0\} / 5.0 = 9.3$																															
106	7、10	荷重の傾斜：(4.3.7)式、(4.3.8)より																															
106	7、10	荷重の傾斜：(4.3.4)式、(4.3.5)より																															
106	例表 4.3.2 正（訂正箇所は○にて表示）																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">荷重条件</th> <th colspan="3">(4.3.1) 式の計算</th> <th rowspan="2">qu (kN/m²)</th> <th rowspan="2">限界支持力 (kN/m²)</th> </tr> <tr> <th>$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$</th> <th>$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$</th> <th>$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常時荷重時</td> <td>0</td> <td>412</td> <td>1148</td> <td>1560</td> <td>1040</td> </tr> <tr> <td>中地震時</td> <td>0</td> <td>231</td> <td>930</td> <td>1161</td> <td>774</td> </tr> <tr> <td>大地震時</td> <td>0</td> <td>115</td> <td>792</td> <td>907</td> <td>907</td> </tr> </tbody> </table>		荷重条件	(4.3.1) 式の計算			qu (kN/m ²)	限界支持力 (kN/m ²)	$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$	$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$	$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$	常時荷重時	0	412	1148	1560	1040	中地震時	0	231	930	1161	774	大地震時	0	115	792	907	907				
荷重条件	(4.3.1) 式の計算			qu (kN/m ²)	限界支持力 (kN/m ²)																												
	$i_c \cdot \alpha \cdot c \cdot N_c$	$i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma$	$i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q$																														
常時荷重時	0	412	1148	1560	1040																												
中地震時	0	231	930	1161	774																												
大地震時	0	115	792	907	907																												
107	4	荷重の傾斜：(4.3.7)式、(4.3.8)より																															
107	8	$z = (14.0 \times 1.5 + 16.0 \times 0.5) / 2.0 = 14.8$																															
107		例表 4.3.3 表中の記号 i_c 、 i 、 i_q																															
107		例表 4.3.3 表中の記号 i_c 、 i 、 i_q																															
107	下から6	根入れ深さ 9m で支持																															
107	下から6	根入れ深さ 5m で支持																															
108	3	生じる応力 p' を (4.3.24) 式により算出																															
108	3	生じる応力 p' を (4.3.17) 式により算出																															
108	6	支持力 q_u は (4.3.24) 式より以下のように																															
108	6	支持力 q_u は (4.3.18) 式より以下のように																															
110	式 4.4.2 正（訂正箇所は○にて表示）																																
	$S_E = \frac{qL(1-\nu^2)}{2\pi E} \left[\log_e \left(\frac{\sqrt{1+m^2+n^2}+m}{\sqrt{1+m^2+n^2}-m} \right) + m \cdot \log_e \left(\frac{\sqrt{1+m^2+n^2}+1}{\sqrt{1+m^2+n^2}-1} \right) - \frac{1-2\nu}{1-\nu} \cdot n \cdot \tan^{-1} \frac{m}{n\sqrt{1+m^2+n^2}} \right]$																																
114		(文、式、図中のすべて) $\Delta\sigma_z$																															
114		(文、式、図中のすべて) $\Delta\sigma'_z$																															
114	図 4.4.6																																
114	図 4.4.6																																

115		(文、式中のすべて) $\Delta\sigma_z$	(文、式中のすべて) $\Delta\sigma'_z$
115	6	式4.4.15中 $m=B/L$ 、 $n=Z/L$	$m=B/z$ 、 $n=L/z$
115	28	長方形分布荷重の内部	長方形分布荷重の外部
116		式4.4.20 $e_{i1}-e_{01}$	式4.4.20 $e_{01}-e_{i1}$
116	下から8,7	e-log 曲線	e-log ρ 曲線
116	下から2	e-log・曲線	e-log ρ 曲線
116	32	・4.4.12	図4.4.12
117	1	e-log・曲線	e-log ρ 曲線
117		図4.4.12、図4.4.13中 e-log 曲線	図4.4.12、図4.4.13中 e-log ρ 曲線
117		式4.4.21 $\log -\log a$	式4.4.21 $\log b-\log a$
118	下から9	排土重量をその2/3-3/4として	排土重量をその2/3~3/4として
119	12	・4.4.15	図4.4.15
119	27	精度計算するするためには	精度よく計算するするためには
119	32	・4.4.16	図4.4.16
121	2	SD_{max}	S_{0max}
123		例図4.4.1 辺AB間の記号“G”	例図4.4.1 辺AB間の記号“E”
123		(文、式中のすべて) $\Delta\sigma_z$	(文、式中のすべて) $\Delta\sigma'_z$
123	8	+ z_{OEBF} + z_{OFOG} + z_{OODH}	+ z_{OEBF} + z_{OFOG} + z_{OODH}
123	13	$OODH : m=B/z=6/10=0.6$,	$OODH : m=B/z=6/10=0.6$,
123	下から6	- z_{DLOV} + z_{DOIE} - z_{DNE}	- z_{DLGN} + z_{DOIE} - z_{DNE}
124		例図4.4.2 辺HIの長さ“30000”	例図4.4.2 辺HIの長さ“60000”
124	13	$\Delta\sigma_{z,D} = 10 \times (0.137 - 0.131 + 0.228) + 2 \times 15$ $\times (0.228 - 0.194) = 33.6 \text{ kN/m}^2$	$\Delta\sigma'_{z,D} = 100 \times (0.137 - 0.131 + 0.228) + 2 \times 150$ $\times (0.228 - 0.194) = 33.6 \text{ kN/m}^2$
124		例図4.4.3 粘土層の厚さ“1000”	例図4.4.3 粘土層の厚さ“2000”
125	5	$n=L/z=10/10=3.0$	$n=L/z=10/10=1.0$
128	下から3	近似解を用いて	近似解を用いて
129		例図4.4.7 辺BHの長さ“1000”	例図4.4.7 辺BHの長さ“10000”

5章 杭基礎

ページ	行	誤	正
159			図5.2.5 語句挿入 左図から順に“オールケーシング”、“アースドリル”、“リバースサーキュレーション工法”
164		図5.3.5 第一限界荷重	図5.3.5 第一限界抵抗力
169		表5.3.1 場所打ちコンクリート杭と最大摩擦力度との重なる欄において $T_s=3.3N$	表5.3.1 場所打ちコンクリート杭と最大摩擦力度との重なる欄において $s=3.3N$
171		図5.3.16 図のタイトル中 周面摩擦力度と $q_1/2$ と $q_2/2$ との関係	図5.3.16 図のタイトル中 周面摩擦力度と $q_1/2$ との関係
184	下から9	(kN/m ² : 孔内水平載荷試験結果より)	(kN/m ² : 地盤調査結果より)
185	3	$Ru = \dots = 4.02 \times 10^{-5}$ (kN)	$Ru = \dots = 4.02 \times 10^5$ (kN)
207		表5.6.1 一様地盤中の弾性支障梁の解	表5.6.1 一様地盤中の弾性支承梁の解
208	4	□) 杭頭が塑性曲げモーメント M_p に達する	□) 杭頭がひび割れモーメント M_c に達する

208	8と9の間		語句挿入 八) 杭頭が M_y に達するまでは、杭体の曲げ剛性を $(EI_0/2)$ として、(口) と同様の方法では y_0 、 M_b 、 M_{max} 等を計算する。																		
208	9	八) 杭頭が M_y に達した後は、それ以上の荷重増分 H に対して杭頭を自由と仮定し、杭頭に塑性曲げモーメントと H が作用したときの杭頭の水平変位 y_0 および地中部最大曲げモーメント M_{max} 等を表 5.6.2 に示す算定式によって計算する。その際も地盤の非線形性を考慮し、杭頭水平変位 $(y_0 + y_0)$ に応じた水平地盤反力係数を採用する。また、杭体の曲げ剛性は、部分的な塑性化の影響を考慮して図 5.6.7 に示す $(EI_0/2)$ 程度とする。	三) 杭頭が塑性曲げモーメント M_y に達した後は、杭頭を自由と仮定し、杭頭に塑性曲げモーメント M_y と水平力 H が作用したときの杭頭の水平変位 y_0 および地中部最大曲げモーメント M_{max} 等を表 5.6.2 に示す算定式によって計算する。その際も地盤の非線形性を考慮し、杭頭水平変位 y_0 に応じた水平地盤反力係数を採用する。また、杭体の曲げ剛性は、部分的な塑性化の影響を考慮して図 5.6.7 に示す (EI_y) とする。																		
208	14	二) 荷重 $(H + H)$ 作用時の～	三) の文章はすべて削除																		
208	16	ホ) 八)～三)の作業を H を増大させながら繰返し、	下線部を削除																		
210	17	C_u : 粘性土の非排水せん断強度 (kN/m^2)	C_u : 粘性土の非排水せん断強度 (kN/m^2)																		
213	下から 13	$K_h = \alpha \times E_0 \times B^{-3/4}$	$K_h = \alpha \times E_0 \times B^{-3/4}$																		
213	下から 7 と 8 の間		文章を挿入 杭の水平抵抗に支配的な影響を与える地盤の範囲は、杭頭から $3m(1/B)$ 程度までである。																		
214	25	$= 1030000 (m^2)$	$= 1030000 (kN \cdot m^2)$																		
214	25	$= 5220000 (m^2)$	$= 5220000 (kN \cdot m^2)$																		
214	下から 5	表 正 (表中に単位を挿入)																			
		<table border="1"> <tr> <td>1000 ϕ</td> <td>(単位力当り)</td> <td>1500 ϕ</td> </tr> <tr> <td>3.01</td> <td>杭頭部曲げモーメント $(M_0) (kN \cdot m)$</td> <td>4.22</td> </tr> <tr> <td>0.63</td> <td>杭地中部最大曲げモーメント $(M_{max}) (kN \cdot m)$</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>9.46</td> <td>発生位置 $(l_m) (m)$</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>5.31×10^{-5}</td> <td>杭頭変位 $(y_0) (m)$</td> <td>3.32×10^{-5}</td> </tr> <tr> <td>1.88×10^4</td> <td>杭水平変位 $(1/y_0) (kN/m)$</td> <td>3.01×10^4</td> </tr> </table>	1000 ϕ	(単位力当り)	1500 ϕ	3.01	杭頭部曲げモーメント $(M_0) (kN \cdot m)$	4.22	0.63	杭地中部最大曲げモーメント $(M_{max}) (kN \cdot m)$	0.92	9.46	発生位置 $(l_m) (m)$	13.9	5.31×10^{-5}	杭頭変位 $(y_0) (m)$	3.32×10^{-5}	1.88×10^4	杭水平変位 $(1/y_0) (kN/m)$	3.01×10^4	
1000 ϕ	(単位力当り)	1500 ϕ																			
3.01	杭頭部曲げモーメント $(M_0) (kN \cdot m)$	4.22																			
0.63	杭地中部最大曲げモーメント $(M_{max}) (kN \cdot m)$	0.92																			
9.46	発生位置 $(l_m) (m)$	13.9																			
5.31×10^{-5}	杭頭変位 $(y_0) (m)$	3.32×10^{-5}																			
1.88×10^4	杭水平変位 $(1/y_0) (kN/m)$	3.01×10^4																			
215	6と7の間		語句挿入 杭体の限界変形角 θ_u を $0.02(\text{rad.})$ と仮定する。																		
215	下から 11	$K_{h0} =$	$K_{h0} =$																		
215	下から 8	$K_h = K_{h0} \times y_0^{-0.5}$	$K_h = K_{h0} \times y_0^{-0.5}$																		
215	下から 5,4	M_b	M_y																		
216	11, 5, 2, 2, 3	M_b	M_y																		
216	下から 1,2	θ	θ_u																		
217	1	$E \times I = 2.0 \times 10^6$ として、	$E \times I = 2.0 \times 10^6$ として、																		
217	3,4,8,9,13,14	M_b	M_y																		
217		例図 5.8.1 荷重 - 水平変位	例図 5.7.2 荷重 - 水平変位																		
225		式 5.7.12 および式 5.7.13 式中の “ QD ”	式 5.7.12 および式 5.7.13 “ Q_0 ”																		
225	12と13の間		記号説明の挿入 D : 杭の外径 (mm)																		
228		表 5.7.5 “軸力” の欄中、 $(1.8 F_c)$	削除																		
231	9	回転剛性 $K = M_0 / \alpha_2$	回転剛性 $K = M_0 / \alpha_1$																		

5章の例図および表の訂正 (訂正箇所は○にて表示)

<p>174</p> <p>例図5.1.1</p>	
<p>179</p> <p>例図5.2.1</p>	<p>地盤条件 PHC埋込み杭</p> <p>()内の数値は換算N値で上限値を100とする。</p> <p>換算N値 = $50 \times \frac{30\text{cm}}{50\text{cm}}$ 可打撃時の貫入量 (cm)</p>

<p>198</p> <p>例図 5.5.1</p>	<p>地盤条件 PHC杭C種500</p> <p>()内の数値は換算N値で上限値を100とする</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>213</p> <p>例図 5.6.1</p>	<p>地盤条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">深度 (m)</th> <th rowspan="2">地盤種別</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">N値</th> <th rowspan="2">Eo=700N</th> <th colspan="2">PHC杭 B=500mm</th> <th colspan="2">場所打ち杭 B=1000mm</th> <th colspan="2">場所打ち杭 B=1500mm</th> </tr> <tr> <th>Kh (kN/m²)</th> <th>平均 Kh</th> <th>Kh (kN/m²)</th> <th>平均 Kh</th> <th>Kh (kN/m²)</th> <th>平均 Kh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>粘土</td><td>2</td><td>60</td><td>1400</td><td>4400</td><td>5300</td><td>2600</td><td>3100</td><td>1900</td><td>2300</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>3</td><td>60</td><td>2100</td><td>6700</td><td>3900</td><td>2900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>1</td><td>60</td><td>700</td><td>2200</td><td>1300</td><td>900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>2</td><td>60</td><td>1400</td><td>4400</td><td>2600</td><td>1900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>1</td><td>60</td><td>700</td><td>2200</td><td>1300</td><td>900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>3</td><td>60</td><td>2100</td><td>6700</td><td>3900</td><td>2900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>5</td><td>60</td><td>3500</td><td>11100</td><td>6600</td><td>4800</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>シルト混細砂</td><td>10</td><td>80</td><td>7000</td><td>29000</td><td>32000</td><td>17000</td><td>19000</td><td>13000</td><td>14000</td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td>9</td><td>80</td><td>6300</td><td>26000</td><td>15000</td><td>11000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td>12</td><td>80</td><td>8400</td><td>35000</td><td>21000</td><td>15000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>15</td><td>80</td><td>10500</td><td>44000</td><td>26000</td><td>19000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td>11</td><td>80</td><td>7700</td><td>32000</td><td>19000</td><td>14000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td>10</td><td>80</td><td>7000</td><td>29000</td><td>17000</td><td>13000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>粘土</td><td>4</td><td>60</td><td>2800</td><td>8900</td><td>7300</td><td>5300</td><td>4300</td><td>3900</td><td>3100</td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td>2</td><td>60</td><td>1400</td><td>4400</td><td>2600</td><td>1900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td>3</td><td>60</td><td>2100</td><td>6700</td><td>3900</td><td>2900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td>3</td><td>60</td><td>2100</td><td>6700</td><td>3900</td><td>2900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td>2</td><td>60</td><td>1400</td><td>4400</td><td>2600</td><td>1900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td>4</td><td>60</td><td>2800</td><td>8900</td><td>5300</td><td>3900</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td>5</td><td>60</td><td>3500</td><td>11100</td><td>6600</td><td>4800</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td>23</td><td>80</td><td>16100</td><td>68000</td><td>67000</td><td>40000</td><td>39000</td><td>40000</td><td>29000</td></tr> <tr><td>22</td><td>細砂</td><td>22</td><td>80</td><td>15400</td><td>65000</td><td>64000</td><td>38000</td><td>28000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td>25</td><td>80</td><td>17500</td><td>74000</td><td>44000</td><td>32000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td>22</td><td>80</td><td>14000</td><td>59000</td><td>35000</td><td>26000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td>22</td><td>80</td><td>15400</td><td>65000</td><td>38000</td><td>28000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td>25</td><td>80</td><td>17500</td><td>74000</td><td>44000</td><td>32000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>粘土</td><td>14</td><td>60</td><td>9800</td><td>31000</td><td>32000</td><td>18000</td><td>18000</td><td>13000</td><td>13000</td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td>15</td><td>60</td><td>10500</td><td>33000</td><td>19000</td><td>14000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>砂礫</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td>(80)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td>(100)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td></td><td>(100)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td></td><td>(100)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td></td><td>(100)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>()内の数値は換算N値で上限値を100とする</p>	深度 (m)	地盤種別	N値	N値	N値	N値	N値	N値	Eo=700N	PHC杭 B=500mm		場所打ち杭 B=1000mm		場所打ち杭 B=1500mm		Kh (kN/m²)	平均 Kh	Kh (kN/m²)	平均 Kh	Kh (kN/m²)	平均 Kh	1	粘土	2	60	1400	4400	5300	2600	3100	1900	2300	2		3	60	2100	6700	3900	2900			3		1	60	700	2200	1300	900			4		2	60	1400	4400	2600	1900			5		1	60	700	2200	1300	900			6		3	60	2100	6700	3900	2900			7		5	60	3500	11100	6600	4800			8	シルト混細砂	10	80	7000	29000	32000	17000	19000	13000	14000	9		9	80	6300	26000	15000	11000			10		12	80	8400	35000	21000	15000			11		15	80	10500	44000	26000	19000			12		11	80	7700	32000	19000	14000			13		10	80	7000	29000	17000	13000			14	粘土	4	60	2800	8900	7300	5300	4300	3900	3100	15		2	60	1400	4400	2600	1900			16		3	60	2100	6700	3900	2900			17		3	60	2100	6700	3900	2900			18		2	60	1400	4400	2600	1900			19		4	60	2800	8900	5300	3900			20		5	60	3500	11100	6600	4800			21		23	80	16100	68000	67000	40000	39000	40000	29000	22	細砂	22	80	15400	65000	64000	38000	28000			23		25	80	17500	74000	44000	32000			24		22	80	14000	59000	35000	26000			25		22	80	15400	65000	38000	28000			26		25	80	17500	74000	44000	32000			27	粘土	14	60	9800	31000	32000	18000	18000	13000	13000	28		15	60	10500	33000	19000	14000			29	砂礫	20									30		(80)									31		(100)									32		(100)									33		(100)									34		(100)								
深度 (m)	地盤種別										N値	N値	N値	N値	N値	N値	Eo=700N	PHC杭 B=500mm		場所打ち杭 B=1000mm		場所打ち杭 B=1500mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		Kh (kN/m²)	平均 Kh	Kh (kN/m²)	平均 Kh	Kh (kN/m²)	平均 Kh																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	粘土	2	60	1400	4400	5300	2600	3100	1900	2300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2		3	60	2100	6700	3900	2900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3		1	60	700	2200	1300	900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
4		2	60	1400	4400	2600	1900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5		1	60	700	2200	1300	900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
6		3	60	2100	6700	3900	2900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
7		5	60	3500	11100	6600	4800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8	シルト混細砂	10	80	7000	29000	32000	17000	19000	13000	14000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9		9	80	6300	26000	15000	11000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
10		12	80	8400	35000	21000	15000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
11		15	80	10500	44000	26000	19000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
12		11	80	7700	32000	19000	14000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
13		10	80	7000	29000	17000	13000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
14	粘土	4	60	2800	8900	7300	5300	4300	3900	3100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15		2	60	1400	4400	2600	1900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
16		3	60	2100	6700	3900	2900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
17		3	60	2100	6700	3900	2900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
18		2	60	1400	4400	2600	1900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
19		4	60	2800	8900	5300	3900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
20		5	60	3500	11100	6600	4800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
21		23	80	16100	68000	67000	40000	39000	40000	29000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
22	細砂	22	80	15400	65000	64000	38000	28000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
23		25	80	17500	74000	44000	32000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
24		22	80	14000	59000	35000	26000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25		22	80	15400	65000	38000	28000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
26		25	80	17500	74000	44000	32000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
27	粘土	14	60	9800	31000	32000	18000	18000	13000	13000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
28		15	60	10500	33000	19000	14000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
29	砂礫	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
30		(80)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
31		(100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
32		(100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
33		(100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
34		(100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

207	表5.6.1	<p>模型図中の曲げモーメントの向き</p> <p>表 5.6.1 一様地盤中の弾性支承梁の解 (頭部に水平力と曲げモーメントを受ける杭の水平抵抗)</p>
-----	--------	--

6章 改良地盤

ページ	行	誤	正
242		<p>図6.2.1</p>	<p>図6.2.1</p>
243		表6.2.3	表6.2.4
246		図6.3.2 許容応力度設計法による f_{sc} の考え方	図6.3.2 許容応力度設計法による f_c の考え方
246	下から4	“quf7”	“qu17”
247	7	f_s は次に述べる	f_r は次に述べる
248	9	内部摩擦力	内部摩擦角
248	18	断面積 A_c	断面積 A_p
248	18	表中の $B \times L$ の B は矩形断面に置き換えた時の短辺幅であり、 L は長辺幅である。	表中の $B \times L$ の B は短辺の外端長であり、 L は長辺の外端長である。
248		表6.3.3 改良体の断面積 A_c (m^2)	表6.3.3 改良体の断面積 A_p (m^2)
249	11	$1750kN / 6.71m^2 = 260.8kN/m^2$	$1750kN / 6.72m^2 = 260.8kN/m^2$
250		式6.3.18	式6.3.18
		$\alpha_{v1} = \frac{(1 - \nu_1)}{(1 + \nu_1)(1 - 2\nu_1)}$	$\alpha_{v1} = \frac{(1 - \nu_1)}{(1 + \nu_1)(1 - 2\nu_2)}$
251	2	n_{12} が0.1程度以上であり、	n_{12} が0.1程度以下であり、
252	下から13	$\nu_1 = \{(1 - \nu_1)(1 - 2\nu_1)\}$	削除
	下から12	$\nu_1 = 1/3$ と設定する	$\nu_1 = \nu_2 = 1/3$ と設定する
253	1	各極限状態	各限界状態
255		図6.3.10 図中の記号 “ d_2 ”	図6.3.10 図中の記号 “ d_2 ”
255	下から4,1	式6.3.31 式中および記号説明 “ ”	式6.3.31 式中および記号説明 “ ”
257	下から11	式6.3.34 $M_0 = (Q_p / 2) \cdot R_{10}$	式6.3.34 $M_0 = (Q_p / 2) \cdot R_{10}$
258	3	式6.3.35 $Q_p = Q_1 \cdot \{(N_b + W_f) / (N_b + W_f)\} + 0.1 \cdot W_f$	式6.3.35 $Q_p = Q_1 \cdot (N_b / N_b) + 0.1 \cdot W_f$
258		図6.3.13 (a) 図中の記号 “ D_2 ”	図6.3.13 (a) 図中の記号 “ d_2 ”
258		図6.3.13(a)	図6.3.13(a)中にコメントを挿入 “ * b_1 、 b_2 は矩形におきかえた時の辺長 ”
259		表6.3.4 表中 “図6.3.14”	表6.3.4 表中 “図6.3.13”

284		式6.4.11 $a_s = \sqrt{\frac{2A_s}{\sqrt{3}a_s}}$	式6.4.11 $x = \sqrt{\frac{A_s}{a_s}}$
284		式6.4.12 $x = \sqrt{\frac{A_s}{a_s}}$	式6.4.12 $x = \sqrt{\frac{2}{\sqrt{3}} \cdot \frac{A_s}{a_s}}$
285		図6.4.14 基礎の配筋例と地業	図6.4.14 基礎の配筋例
287	5	変位緩衝工が設置	変位緩衝溝が設置
287		図6.4.19 変位緩衝工の設置	図6.4.19 変位緩衝溝の設置

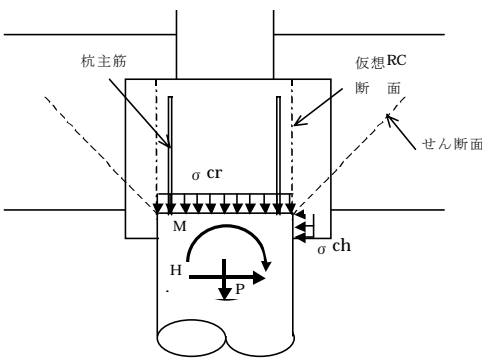
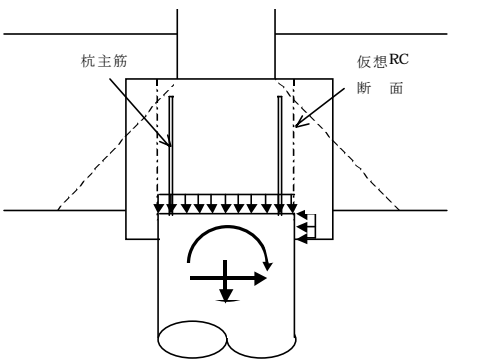
7章 直接基礎の設計例

ページ	行	誤	正
291		表7.2.2 一軸圧縮、E50 の 2-1(G.L.-6.0~7.0m)の欄 “19.72”	表7.2.2 一軸圧縮、E50 の 2-1(G.L.-6.0~7.0m)の欄 “28.00”
293	下から5	・内部摩擦角 =0° とする	・内部摩擦角は安全側に評価し =0° とする
296	8 下から11 下から8 下から2	正(訂正箇所は○にて表示) 常時接地圧は $\sigma_L = \frac{N_L}{A} = \frac{4792}{4.0 \times 4.0} = 299.5 \text{ (kN/m}^2\text{)} < 324.7 = \frac{R_y}{A} \cdot \frac{\sigma_L \cdot A}{R_y} = 0.92$ $\sigma_S = \frac{N_S}{A} = \frac{4931}{16.0} = 308.2 \text{ (kN/m}^2\text{)} > 266.3 = \frac{R_y}{A} \cdot \frac{\sigma_S \cdot A}{R_y} = 1.16$ $\sigma_S = \frac{N_S}{A} = \frac{4931}{4.5 \times 4.5} = 243.5 \text{ (kN/m}^2\text{)} < 266.3 = \frac{R_y}{A} \cdot \frac{\sigma_S \cdot A}{R_y} = 0.91$ $\sigma_U = \frac{N_U}{A} = \frac{5174}{20.25} = 255.5 \text{ (kN/m}^2\text{)} < 277.6 = \frac{R_U}{A} \cdot \frac{\sigma_U \cdot A}{R_U} = 0.92$	
297		図7.5.1 $E_s = 2.8\text{N} = 28\text{MN} / \text{m}^2$	図7.5.1 $E_s = E_{50} = 28\text{MN} / \text{m}^2$
299	下から4	過圧密状態に留まり圧密沈下	過圧密状態に留まり圧密沈下
301	1	4. 下量の評価	4. 沈下量の評価

8章 杭基礎の設計例

ページ	行	誤	正
307		図8.1.4 深度 3.3mのN値 “2.6” 深度 7.4mのN値 “1.5” 深度 10.3mのN値 “2.6” $N_s = (11 + 4 + 2.6) / 3 = 5.8$ $N_s = (2 + 1 + 2) / 3 = 1.7$ $N_s = (2.6 + 3) / 2 = 3$	図8.1.4 深度 3.3mのN値 “3” 深度 7.4mのN値 “1” 深度 10.3mのN値 “3” $N_s = (11 + 4 + 3) / 3 = 6$ $N_s = (2 + 2 + 2) / 3 = 2$ $N_s = (3 + 3) / 2 = 3$
309		表8.1.5 深度 3.3mのN値の欄 “2.6” 深度 4.0mのN値の欄 “2.2” 深度 7.4mのN値の欄 “1.5” 深度 10.3mのN値の欄 “2.6” 深度 10.3mの補正N値の欄 “9.8” 深度 10.3mの安全率 FI ($\max=200$) の欄 “0.75”	表8.1.5 深度 3.3mのN値の欄 “3” 深度 4.0mのN値の欄 “2” 深度 7.4mのN値の欄 “1” 深度 10.3mのN値の欄 “3” 深度 10.3mの補正N値の欄 “10.2” 深度 10.3mの安全率 FI ($\max=200$) の欄 “0.76”

		深度 10.3m の安全率 FI ($n_{max}=350$) の欄 "0.43"	深度 10.3m の安全率 FI ($n_{max}=350$) の欄 "0.44"
310	17	杭頭は GL - 1.5m、杭先端は	杭頭は GL - 1.58m、杭先端は
310	下から 1	正 (訂正箇所は○にて表示) $\Sigma \tau_s \cdot L_s = 2.5 \times \left(6 \times 2.42 + \frac{42 + 44}{2} \times 1.0 \right) = 143.8$	
311	6	正 $R_f = (143.8 + 150.0) \phi = 293.8 \phi$	
312	6	正 $R_f = \left(\frac{10}{3} \times (6 \times 2.42 + 30 \times 1.0) + \frac{1}{2} \times (59.0 \times 3.0 + 66.0 \times 3.0) \right) \phi = 336 \phi$	
313	下から 2	正 $F_1 = \frac{1}{\pi} \left[\log_e \frac{(1 + \sqrt{1^2 + 1}) \sqrt{1^2 + d^2}}{1 + \sqrt{1^2 + d^2 + 1}} + \log_e \frac{(1 + \sqrt{1^2 + 1}) \sqrt{1 + d^2}}{1 + \sqrt{1^2 + d^2 + 1}} \right]$	
313	下から 1	正 $= \frac{1}{\pi} \left[1.0 \cdot \log_e \frac{(1 + \sqrt{1^2 + 1}) \sqrt{1^2 + 1.11^2}}{1 + \sqrt{1^2 + 1.11^2 + 1}} + \log_e \frac{(1 + \sqrt{1^2 + 1}) \sqrt{1 + 1.11^2}}{1 + \sqrt{1^2 + 1.11^2 + 1}} \right]$	
314	4	正 $\Delta S_E = q \frac{B}{E_s} I_s = 110.0 \times \frac{(5.84/2)}{32500} \times 0.130 = 0.128 \times 10^{-2} \text{ (m)}$	
314	5	正 $S_E = 4 \times 0.128 \times 10^{-2} = 0.512 \times 10^{-2} \text{ (m)}$	
314	9	正 ${}_A S_E = 0.40 \times 10^{-2} \text{ (m)}$	
314	10	正 ${}_B S_E = 0.48 \times 10^{-2} \text{ (m)}$	
314	11	正 $\theta = \frac{{}_B S_E - {}_A S_E}{L} = \frac{(0.48 - 0.40)}{500} = 0.16 \times 10^{-3} \text{ (m)}$	
315	5	杭頭は GL-1.5m、杭先端は GL-25.0m とする	杭頭は GL-1.58m、杭先端は GL-25.8m とする
315	下から 14	正 $\Sigma \tau_s \cdot L_s = 3.3 \times (6 \times 2.42 + 37 \times 4.5 + 48 \times 2.0) = 914.1$	
316		表 8.2.3 右上の記号 "R _{TR} "	表 8.2.3 右上の記号 "R _{TY} "
316	下から 5	正 (訂正箇所は○にて表示) $R_f = \left(\frac{10}{3} \times (6 \times 2.42 + 30 \times 4.5 + 30 \times 2.0) + \frac{1}{2} \times (59.0 \times 3.0 + 66.0 \times 3.0 + 200.0 \times 6.5) \right) \phi$	

318		表8.2.5 左上から2番目 “杭頭沈下量杭体考慮 (kN)”	表8.2.5 左上から2番目 “杭頭沈下量杭体考慮 (mm)”
319	2		語句挿入 有梁町層の粘性土については、正規圧密または過圧密状態であることから、
319	8	= 90.0(kN/m ²) < 圧密降伏応力以下 Pc = 92.0(kN/m ²)	= 90.0(kN/m ²) Pc=92.0(kN/m ²) ₀ はP _c にほぼ等しく正規圧密状態にある
319	14	中地震動 (時一次設計時)	中地震動時 (一次設計時)
320	下から9	$k_{h0} = \alpha \cdot \xi \cdot E_0 \cdot B^{\frac{3}{4}}$	$k_{h0} = \alpha \cdot E_0 \cdot B^{\frac{3}{4}}$
320	下から7	ξ : 群杭の影響を・・・ξ = 1.0とする。)	削除
322		表8.5.2 上、右から2の欄中 “ $\frac{\pi}{2\beta}$ ”	表8.5.2 上、右から2の欄中 “ l_m ”
322	5	M _{max} の発生深さ: $\frac{\pi}{2\beta}$	M _{max} の発生深さ: $l_m = \frac{\pi}{2\beta}$
323	7	杭のフープのピッチはセンター指針に従い、	杭のフープのピッチは文献 ^{8.5.1)} に従い、
325		図8.6.1	<p>誤</p>  <p>正</p> 

326		表 8.7.1 記号説明 K _p : 受働土圧係数	表 8.7.1 記号説明 K _p : 受働土圧係数
327		表 8.7.2 層厚 4.0m の N 値の欄 "5.8" 層厚 3.0m の N 値の欄 "1.9" 層厚 3.0m の N 値の欄 "1.9"	表 8.7.2 層厚 4.0m の N 値の欄 "6" 層厚 3.0m の N 値の欄 "2" 層厚 3.0m の N 値の欄 "2"

9章 深層混合処理工法による地盤改良の設計例

ページ	行	誤	正																																			
331	1	「建築物のための改良地盤～指針」	「改訂版 建築物のための改良地盤～指針」																																			
331	2	平成 14 年 12 月改訂	平成 14 年 11 月																																			
337	6	縁部から 0.141D かつ 10cm 以上突出させる。	下線部を削除																																			
340	7	$\gamma_s = 8.1 \text{ (kN/m}^3\text{)}$ (改良体の単位体積重量は砂と同じ)	削除																																			
340	10	$i_c = i_q = i_r = 1.0$, $\alpha = 1.0$	下線部を削除																																			
340	11	$D_f = 6.00 \text{ (m)}$	$D_f = 6.00 \text{ (m)}$																																			
340	下から 3	∴改良地盤底面の許容鉛直支持力度は	下線部を削除																																			
342	5	$Q_p = Q_t \cdot \{ (N_s + W_f) / (N_s + W_f) \} + 0.1W_f \text{ (kN)}$	$Q_p = Q_t \cdot (N_s / N_s) + 0.1W_f \text{ (kN)}$																																			
342	5	(6.3.33)式より	(6.3.35)式より																																			
342		表 9.7.6 正 (訂正箇所は○にて表示)																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>X0</th> <th>X1</th> <th>X2</th> <th>X3</th> <th>X4</th> <th>単位 (kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y3</td> <td>68</td> <td>174</td> <td>162</td> <td>164</td> <td>128</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y2</td> <td>116</td> <td>263</td> <td>263</td> <td>250</td> <td>197</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y1</td> <td>116</td> <td>263</td> <td>263</td> <td>250</td> <td>197</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y0</td> <td>68</td> <td>174</td> <td>162</td> <td>164</td> <td>128</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		X0	X1	X2	X3	X4	単位 (kN)	Y3	68	174	162	164	128		Y2	116	263	263	250	197		Y1	116	263	263	250	197		Y0	68	174	162	164	128		
	X0	X1	X2	X3	X4	単位 (kN)																																
Y3	68	174	162	164	128																																	
Y2	116	263	263	250	197																																	
Y1	116	263	263	250	197																																	
Y0	68	174	162	164	128																																	
342		表 9.7.7 正 (訂正箇所は○にて表示)																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>X0</th> <th>X1</th> <th>X2</th> <th>X3</th> <th>X4</th> <th>単位 (kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y3</td> <td>146</td> <td>216</td> <td>209</td> <td>216</td> <td>146</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y2</td> <td>142</td> <td>247</td> <td>254</td> <td>247</td> <td>142</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y1</td> <td>170</td> <td>266</td> <td>272</td> <td>266</td> <td>170</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y0</td> <td>50</td> <td>122</td> <td>115</td> <td>122</td> <td>50</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		X0	X1	X2	X3	X4	単位 (kN)	Y3	146	216	209	216	146		Y2	142	247	254	247	142		Y1	170	266	272	266	170		Y0	50	122	115	122	50		
	X0	X1	X2	X3	X4	単位 (kN)																																
Y3	146	216	209	216	146																																	
Y2	142	247	254	247	142																																	
Y1	170	266	272	266	170																																	
Y0	50	122	115	122	50																																	
343		表 9.7.8 正 (訂正箇所は○にて表示)																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F3</th> <th>単位 (kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N_s</td> <td>1397</td> <td>1119</td> <td>757</td> <td></td> </tr> <tr> <td>W_f</td> <td>135</td> <td>88</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Q_p</td> <td>272</td> <td>216</td> <td>146</td> <td>(Y 方向加力時)</td> </tr> </tbody> </table>		F1	F2	F3	単位 (kN)	N _s	1397	1119	757		W _f	135	88	58		Q _p	272	216	146	(Y 方向加力時)																
	F1	F2	F3	単位 (kN)																																		
N _s	1397	1119	757																																			
W _f	135	88	58																																			
Q _p	272	216	146	(Y 方向加力時)																																		
344	12	$M_0 = \max(M_{\text{max}}, M_0) = \max(148, 141) = 148$	$M_0 = \max(M_{\text{max}}, M_0) = \max(149, 142) = 149$																																			
	13	$(Q_p / 2) \cdot R_{\text{max}} = 270 / (2 \times 0.28) \times 0.307 = 148$	$(Q_p / 2) \cdot R_{\text{max}} = 272 / (2 \times 0.28) \times 0.307 = 149$																																			
	14	$(Q_p / 2) \cdot R_{M_0} = 270 / (2 \times 0.28) \times 0.292 = 141$	$(Q_p / 2) \cdot R_{M_0} = 272 / (2 \times 0.28) \times 0.292 = 142$																																			
344	下から 6,3	式中の数値 " 148 "	式中の数値 " 149 "																																			
345	4	式中の数値 " 148 "	式中の数値 " 149 "																																			

345	10, 14	式中の数値“270”	式中の数値“272”																																																																						
345	14	式中の数値“130”	式中の数値“131”																																																																						
345		表 9.7.9 正 (訂正箇所は○にて表示)																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>$\frac{M_{\max}}{M_0}$ (kN・m)</th> <th>M_d (kN・m)</th> <th>L (m)</th> <th>Z</th> <th>$\frac{R_{\max}}{R_{0p}}$</th> <th>$\frac{Q_p}{W_p}$ (kN)</th> <th>A_p (m^2)</th> <th>$\frac{f_c}{f_t}$ (kN/m^2)</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>149</td> <td>149</td> <td>5.00</td> <td>1.4</td> <td>0.307</td> <td>272</td> <td>6.23</td> <td>303 / 600</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>0.28</td> <td>142</td> <td>149</td> <td>5.00</td> <td>1.4</td> <td>0.292</td> <td>1532</td> <td>6.23</td> <td>189 / -120</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td>124</td> <td>124</td> <td>5.00</td> <td>2.1</td> <td>0.484</td> <td>216</td> <td>4.10</td> <td>403 / 600</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>0.42</td> <td>64</td> <td>124</td> <td>5.00</td> <td>2.1</td> <td>0.247</td> <td>1207</td> <td>4.10</td> <td>185 / -120</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80</td> <td>80</td> <td>5.00</td> <td>2.3</td> <td>0.501</td> <td>146</td> <td>2.70</td> <td>411 / 600</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>0.46</td> <td>39</td> <td>80</td> <td>5.00</td> <td>2.3</td> <td>0.246</td> <td>815</td> <td>2.70</td> <td>193 / -120</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table>			$\frac{M_{\max}}{M_0}$ (kN・m)	M_d (kN・m)	L (m)	Z	$\frac{R_{\max}}{R_{0p}}$	$\frac{Q_p}{W_p}$ (kN)	A_p (m^2)	$\frac{f_c}{f_t}$ (kN/m^2)	判定		149	149	5.00	1.4	0.307	272	6.23	303 / 600	OK	0.28	142	149	5.00	1.4	0.292	1532	6.23	189 / -120	OK		124	124	5.00	2.1	0.484	216	4.10	403 / 600	OK	0.42	64	124	5.00	2.1	0.247	1207	4.10	185 / -120	OK		80	80	5.00	2.3	0.501	146	2.70	411 / 600	OK	0.46	39	80	5.00	2.3	0.246	815	2.70	193 / -120	OK
	$\frac{M_{\max}}{M_0}$ (kN・m)	M_d (kN・m)	L (m)	Z	$\frac{R_{\max}}{R_{0p}}$	$\frac{Q_p}{W_p}$ (kN)	A_p (m^2)	$\frac{f_c}{f_t}$ (kN/m^2)	判定																																																																
	149	149	5.00	1.4	0.307	272	6.23	303 / 600	OK																																																																
0.28	142	149	5.00	1.4	0.292	1532	6.23	189 / -120	OK																																																																
	124	124	5.00	2.1	0.484	216	4.10	403 / 600	OK																																																																
0.42	64	124	5.00	2.1	0.247	1207	4.10	185 / -120	OK																																																																
	80	80	5.00	2.3	0.501	146	2.70	411 / 600	OK																																																																
0.46	39	80	5.00	2.3	0.246	815	2.70	193 / -120	OK																																																																
345		表 9.7.10 正 (訂正箇所は○にて表示)																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎</th> <th>Q_p (kN)</th> <th>A_p (m^2)</th> <th>f_c (kN/m^2)</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F1</td> <td>272</td> <td>6.23</td> <td>131</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>F2</td> <td>216</td> <td>4.10</td> <td>158</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>F3</td> <td>146</td> <td>2.70</td> <td>162</td> <td>OK</td> </tr> </tbody> </table>		基礎	Q_p (kN)	A_p (m^2)	f_c (kN/m^2)	判定	F1	272	6.23	131	OK	F2	216	4.10	158	OK	F3	146	2.70	162	OK																																																		
基礎	Q_p (kN)	A_p (m^2)	f_c (kN/m^2)	判定																																																																					
F1	272	6.23	131	OK																																																																					
F2	216	4.10	158	OK																																																																					
F3	146	2.70	162	OK																																																																					
346		(文中すべて)許容鉛直支持力度	(文中すべて)極限鉛直支持力度																																																																						
347	5	(6.3.39)式より Q_0 を求める。	(6.3.41)式より Q_0 を求める。																																																																						
347	6	$0.3 \times 900 + (Q_0 / 6.23) \times 0.58 = 3.0 \times (Q_0 / 6.23)$	$0.3 \times 900 + (Q_0 / 6.23) \times 0.577 = 3.0 \times (Q_0 / 6.23)$																																																																						
348	11	$M_{re} = N_{se} \cdot L_e = 1712 \times 0.83 = 1421$	$M_{re} = N_{se} \cdot e_s = 1712 \times 0.83 = 1421$																																																																						
348	下から 7	$M_0 = Q \cdot L_y - (2P_{u1} + P_{u2}) \cdot L_y^2 / 6 - M - M_{re}$	$M_0 = Q \cdot L_y - (2P_{u1} + P_{u2}) \cdot L_y^2 / 6 - M - M_{re}$																																																																						
348	下から 6	$(2 \times 90.8 + 366.8) \times (3.0 \times 3.0) / 6 - 373$	$(2 \times 90.8 + 366.8) \cdot L_y^2 / 6 \times (3.0 \times 3.0) - 373$																																																																						
349	7	$F_{\max} \dots OK$	$F_{\max} \dots OK$																																																																						
352	12	$S_e = 4 \cdot S_e = 4 \times 0.43 = 1.7cm$	$S_e = 4 \cdot S_e = 4 \times 0.45 = 1.78cm$																																																																						
352	13	$S_e = q \cdot B_0 / (2E_s) \cdot I_s = 181 \times 280 / (2 \times 22400) \times 0.378 = 0.4cm$	$S_e = q \cdot B_0 / (2E_s) \cdot I_s = 189 \times 280 / (2 \times 22400) \times 0.378 = 0.45cm$																																																																						
352	16	q : 改良地盤底面下の有効接地圧 (kN/m^2) 以下による	q : 改良地盤底面下の接地圧 (= 189 kN/m^2)																																																																						
352	下から 9~7	根切り土の重量: $-D_1 = 17.0 \times 1.00 = 17.0$ (kN/m^2) この 1/2 を接地圧 q_0 より減じて有効接地圧とする。 $q = 189 - 1/2 \times 17.0 = 181$ (kN/m^2)	削除																																																																						
352	下から 5	($= 14 \cdot N = 22400 kN/m^2$)	($= 14 \times 10^2 \cdot N = 22400 kN/m^2$)																																																																						
352	下から 2	$S = S_{eq} + S_e = 0.73 + 1.72s = 2.45cm$	$S = S_{eq} + S_e = 0.73 + 1.72 = 2.45cm$																																																																						
353		表 9.8.2 正 (訂正箇所は○にて表示)																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良地盤の圧縮量 S_{eq} (cm)</td> <td>0.73</td> <td>0.71</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>下部砂層の即時沈下量 S_e (cm)</td> <td>1.78</td> <td>1.40</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>即時沈下量 $S = S_{eq} + S_e$ S (cm)</td> <td>2.51</td> <td>2.11</td> <td>1.67</td> </tr> </tbody> </table>			F1	F2	F3	改良地盤の圧縮量 S_{eq} (cm)	0.73	0.71	0.63	下部砂層の即時沈下量 S_e (cm)	1.78	1.40	1.04	即時沈下量 $S = S_{eq} + S_e$ S (cm)	2.51	2.11	1.67																																																						
	F1	F2	F3																																																																						
改良地盤の圧縮量 S_{eq} (cm)	0.73	0.71	0.63																																																																						
下部砂層の即時沈下量 S_e (cm)	1.78	1.40	1.04																																																																						
即時沈下量 $S = S_{eq} + S_e$ S (cm)	2.51	2.11	1.67																																																																						
353	2	1.67 ~ 2.45cm で相対沈下量、	1.67 ~ 2.51cm で相対沈下量、																																																																						
353	下から 8	α_{2z}	α'_{2z}																																																																						
353	下から 2	圧密沈下量を下式によって算定する。	下線部を削除																																																																						
356	下から 11	q_{uf}	V_{quf}																																																																						

10章 締固め工法による地盤改良の設計例

ページ	行	誤	正
359	7	埋土層、およびその下のシルト混じり砂層は、	下線部を削除
359	10	一方、それ以深の洪積粘性土層については	一方、GL-31m以深の洪積粘性土層については
361	下から2	GL - 2.5m ~ - 13.5mの範囲の砂層で	GL - 2.5m ~ - 13.8mの範囲の埋土層で
362		表 10.3.1 No.7、Fc(%)の欄“16.0”	表 10.3.1 No.7、Fc(%)の欄“15.0”
362		表 10.3.1 No.6、FIの欄“空白”	表 10.3.1 No.6、FIの欄“0.935”
362	下から5	平均 F_L が1.0を越えることとする。	平均 F_L が1.0以上となることとする。
363	25	B=L/2 (L:改良深度)	B=H/2 (H:改良長)
363		図 10.5.1 図中の記号“L/2”	図 10.5.1 図中の記号“H/2”
363	下から1	GL - 7.3m付近の砂層を例にとって	GL - 7.3m付近の層を例にとって
364	12	表 10.3.1より、Bs層	表 10.3.1より、埋土層
364	15	正(訂正箇所は○にて表示) $Dr_0 = 21 \sqrt{\frac{N_0 \times 98.1}{0.7 \cdot 98.1 + \sigma'_z} + \frac{\Delta N_f}{1.7}} = 21 \sqrt{\frac{294.3}{68.67 + 85.7} + \frac{7.0}{1.7}} = 51.53(\%)$	
364	16	正(訂正箇所は○にて表示) $e_0 = e_{\max} - \frac{Dr_0}{100} (e_{\max} - e_{\min}) = 1.30 - \frac{51.54}{100} \times \frac{1.30 - 0.72}{100} = 1.001$	
364	18	GL - 7.3m地点の層を液状化させない	中地震時に液状化層全層で $F_L < 1.0$ となる条件として、GL - 7.3m地点の層を液状化させない
364	20	正(訂正箇所は○にて表示) $Dr_1' = 21 \sqrt{\frac{N_1 \times 98.1}{0.7 \cdot 98.1 + \sigma'_z} + \frac{\Delta N_f}{1.7}} = 21 \sqrt{\frac{981}{68.87 + 85.7} + \frac{7.0}{1.7}} = 67.96(\%)$	
366	1	4. 大地震時に $F_L < 1.0$ となる	4. 大地震時に $F_L < 1.0$ となる
366	2	液状化安全率 F_L が1.0以下となる	液状化安全率 $F_L < 1.0$ となる
368	7	常時荷重時、基礎底面に作用する接地圧 σ_v と降伏支持力度 q_v の関係から、	常時荷重時、基礎底面に作用する接地圧 σ_v は建物総重量 W とべた基礎面積 A の関係から、 $\sigma_v = W/A = 78.47 \text{ kN/m}^2$ となり、降伏支持力度 q_v との関係から、
371	下から11	式中の数値“284437.5”	式中の数値“137547.5”
372	7	式中の数値“60.47”	式中の数値“60.77”
373	下から1	式中の数値“777.14”	式中の数値“7771.4”
374	3	$= \tan^{-1}(H/W) = 18.79^\circ$ となり	$= \tan^{-1}(H/W) = 15.11^\circ$ となり